

平成18年度 第4回平田地域協議会 会議記録（抜粋）

○日 時 平成18年11月17日（金）午後1時30分～3時00分

○場 所 酒田市ひらたコミュニティセンター

○出席委員 15名 1号委員 石黒一喜、齋藤孝雄、丸山賢治、阿部時男、石黒 均、
石川敏行、高橋絹子、菅原律子

2号委員 佐藤富雄、佐藤さく子、太田美佐子、小林隆逸

3号委員 佐藤達也、富樫文雄、佐藤良二

（※1号委員：公共的団体推薦、2号委員：識見委員、3号委員：公募委員）

○欠席委員 なし

○職 員 平田総合支所長：佐藤富雄、地域振興課長：齋藤啓一、市民福祉課長：石黒吉春、
健康福祉主幹：久松勝郎、建設課長：鈴木良寿、産業課長：尾形 力、平田教育
振興室長：齋藤善和、地域振興課地域振興主査：佐藤良広、地域振興係長：後藤
学

○傍聴者 なし

< 協議会次第 >

●酒田市市民憲章の唱和

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 平田総合支所長あいさつ

4. 会議録署名委員の選出

（情報交換）

5. 協 議

（1）地域振興の課題等について

（2）その他

6. 閉 会

- 開会に先立ち、全員参加により協議会が成立していることを報告。
- その後、全員で酒田市市民憲章を唱和し、開会する。

1. 開 会 … (進行を務める齋藤地域振興課長が開会する。)

2. 小林隆逸会長あいさつ

今年度4回目の協議会にご多用のところ委員全員の出席をいただき感謝する。

本日は会議終了後、市議会の地域振興・農業政策促進特別委員会の方々との意見交換を予定している。市議会議員との正式な協議の場を持つことは初めてであり、また、この特別委員会は新市の一体化に資するため設置された経緯もあると伺っている。当地域出身の議員がいないことは少し残念ではあるが、当地域の主要な課題について意義ある意見交換をしていきたい。

さて、当協議会としても総合的にこの地域のこれからのありようをある程度積み上げてきた。各論として新市の総合計画でも議論が進められている中で、その進捗について前回協議会で実務的な内容についても質問があった。本日は、前段その状況等について協議ではなく事務局の説明を基に、委員相互に意思疎通を図るための情報交換会を行ないたい。市議会議員との懇親会も予定しているので特段のご理解をお願いしたい。

3. 佐藤平田総合支所長あいさつ

日に日に寒さが厳しくなる中、全員出席の協議会となり感謝する。また、当協議会の佐藤さく子委員が今回市民表彰を受賞された。誠におめでとうございます。

さて、本日の会議の趣旨は会長が述べられたとおりで、限られた時間の中ではあるが、前回の積残しを議論いただきながら、地域振興に向けたご意見を賜りたい。

過日、当地域内においていたましい交通事故が発生し残念である。夕暮れが早まり交通事故が発生しやすい状況にあり、また連鎖の懸念もあるので関係機関と共に緊急防止運動も展開するが、委員各位からも地域、職場などで一人ひとりの注意を呼びかけるなど、引き続き交通安全運動にご協力をお願いしたい。

(佐藤さく子委員より市民表彰の受賞の報告と御礼が述べられる)

(地域振興課長より日程の説明、その後、会長が会議の議長となって進める。)

4. 会議録署名委員の選出 … (7番 高橋絹子 委員を選出)

(情報交換会)

委員の情報交換、勉強会的なものとして、前回の協議会で出された総合計画の策定作業の状況、コミュニティ振興組織について、市役所内の議論の状況や他地域の現状などについて、事務局からの情報提供を基に委員相互の意見交換が行なわれた。

総合計画策定については、各地で行なわれたまちづくり意見交換会の概要(まとめ資料)が事務局から示され、また、現在「酒田市の現状と課題」が補強修正されており12月にはその修正版が公表される見通しにあることや、その中でも地域の意向をふまえ「中山間地域の振興」が計画の中に位置づけられ、その振興策について議論が進んでいることなどが紹介された。また、地域要望の高い県道、急傾斜地対策、砂防などの住民の安全・安心に係る事業の県への対応も含め将来の事業展開等について意見交換された。

コミュニティ振興組織については、行財政集中行革プランで示されている旧酒田市民館地区の公民館主事引き上げの方針、それについての旧酒田市民、公民館地区住民のとらえ方、その後の地域コミュニティ、生涯学習に対する市の支援策のありようなどについて認識を深めた。

(以上は会議録を省略)

また、山形新幹線の酒田延伸と羽越線高速化、19年度から始まる農地水環境保全向上対策の制度内容と補助金額の見通し等について以下のような意見交換がなされた。

○ 佐藤(富)委員

山形新幹線の酒田延伸について状況はどのようになっているか。地域全体の大きな問題であり羽越線の高速化とも関連するが根本的な論議、基本線が定まっていないように感じる。

○ 支所長

県の調査により羽越本線の高速化と山形新幹線(ミニ新幹線の酒田延伸)の費用対効果が示されている。上越新幹線と羽越線を新潟駅で同一ホームとし、羽越線の在来線を高速化する方法が費用対効果では有効と示されているが、県としての決定はまだなされていない。酒田市としては軸足をどちらかという山形新幹線延伸において運動を進めてきている。

○ 地域振興課長

県全体の一体感という面では山形新幹線延伸、東京により近くなるには羽越線の高速化が有効であるなど議論が分かれている状況にある。

○ 会長

両方とも欲しいと言うのは簡単でも、それを叶えることは非常に困難なものであろう。

○ 佐藤（良）委員

19年度から導入される農地水環境保全向上対策については区長会でも勉強しているが、平田地域では大半の地区が加入する意向と聞く。しかし、ここに来て上限額が変わるという情報があるがどうなのか。

○ 産業課長

過日県庁で担当者説明会があり、国からの制度の要綱が12月に示される予定が1月以降にずれ込むのではないかとの見通しが示された。費用や対象事業項目の詳細について示すことができない状況にある。また、県が財政的に厳しいため金額を半分にし、対象面積も切りつめるということについて市町村から強い要望も出ている。酒田市としては、予算は確保するが県に合わせるようになっていくだろう。また、事業内容として何が可能となるかなど、国県からの資料が届き次第できれば1月には説明会を持ちたいと考えている。

○ 佐藤（良）委員

地区の取りまとめが遅れて、乗り遅れの無いように対応願いたい。

○ 石川委員

私も県の動向には注目している。県が財政的に厳しく金額を半額、面積も減少するというとは最悪1/4ということもあるのか。

○ 産業課長

金額は1/2となりそうだとのこと。面積はまだ分からないが2/3程度という情報もある。

5. 協議

(1) 地域振興の課題等について

○健康福祉主幹

平田診療所の医師派遣について情報提供したい。現在、県内には10名の医師が派遣されており、酒田市では八幡病院に3名、松山診療所に1名、平田診療所に1名と計5名が派遣されている。それが19年度に県全体で8名となる見通しにあり、その内の5名を酒田市に派遣いただくことが難しい状況にあり、平田診療所の常勤体制が厳しい状況にあることを情報提供させていただく。

(2) その他

(なし)

6. 閉 会 … (進行の地域振興課長が閉会する。)